

## 持続的な成長に向けて～長期構想SIC27

不透明さが増すこれからの時代、長期的視点での考え方はますます重要になっています。

東洋インキグループは、2027年に向けた長期構想SIC27を掲げ、この9年間でSIC-I(2018～2020年度)、SIC-II(2021～2023年度)、SIC-III(2024～2026年度)の3つのステップに区切り、3年単位の中期経営計画でPDCAをまわすことにより、持続的な成長を目指します。

### 長期構想SIC27

持続可能な成長を実現する、2027年に向けた企業活動コンセプト

# Scientific Innovation Chain

《科学的に実行する×革新的に発想する×それぞれの活動を連鎖させる》

東洋インキグループ共通の提供価値

## For a Vibrant World

Scientific Innovation Chainの活動の結果として、私たちは世の中にどんな価値を提供していくのか。その答えが、For a Vibrant Worldです。

すべての生活者・生命・地球環境がいきいきと共存・共生する世界の実現に貢献します。

### SIC-Iの基本方針

#### 1 成長に向けた既存事業の変革と新事業への挑戦

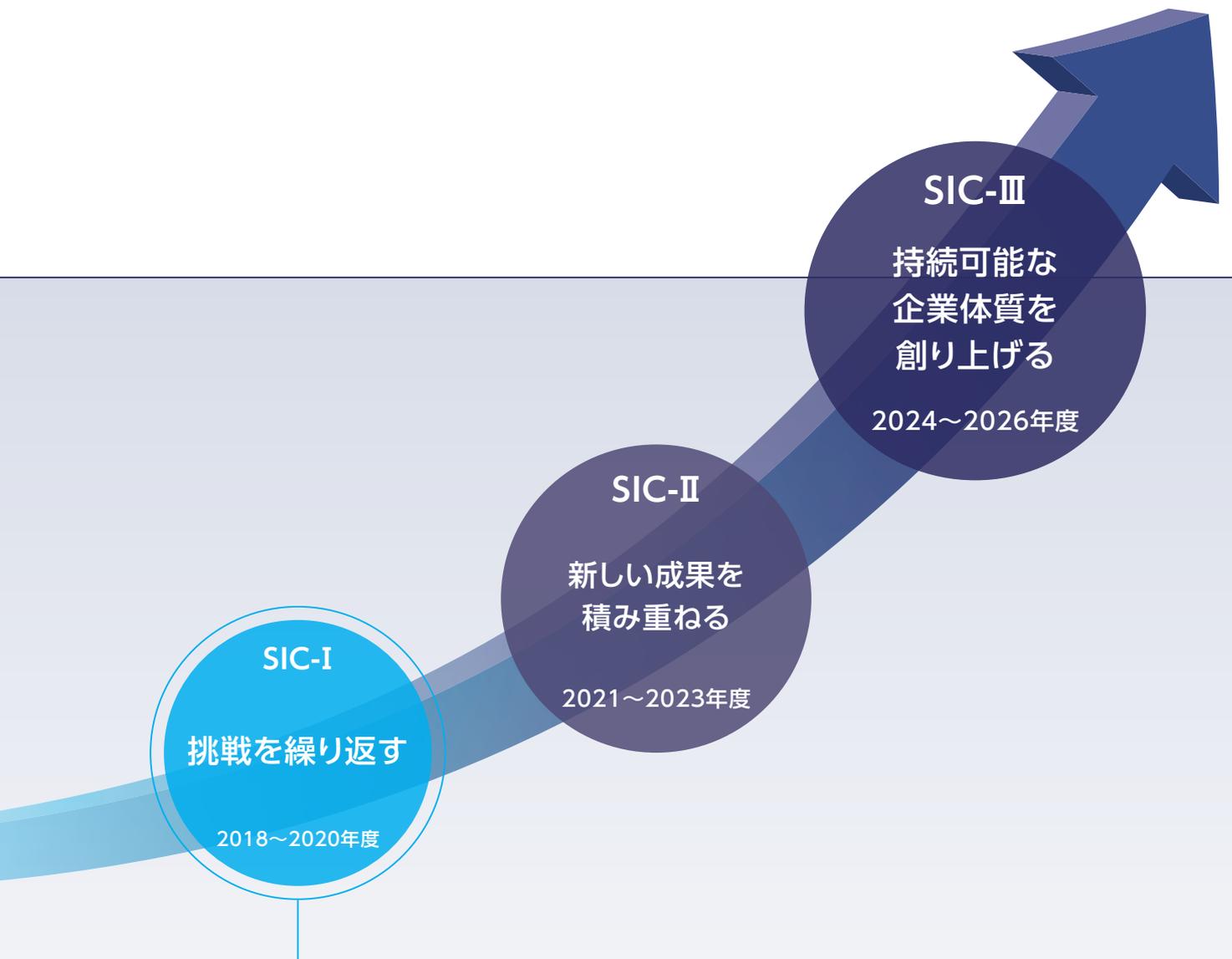
海外拠点の連携・複合化と製品の拡充を進め、多彩なビジネス展開でグローバル市場での成長力を高めていきます。また、コア素材とコア技術の融合による新規素材の開発で新たな価値を創出し、新市場・新規エリアでの事業拡大、新事業の創出・確立に挑戦していきます。

#### 2 持続可能性向上に向けたモノづくり革新の推進

これまで行ってきたモノづくり革新の取り組み(グローバルモノづくりネットワークの構築、環境配慮型モノづくり体制の構築、グローバル化学物質管理・貿易管理体制の整備など)からさらに発展し、生活者・生命・地球環境の持続可能性向上への貢献と、企業グループとしての収益確保を両立できるモノづくり革新に取り組んでいきます。

#### 3 経営基盤の刷新

SIC-Iで取り組んでいく諸々の事業施策を下支えすべく、業務システムのグローバル統合推進や、変革に備えた人材採用と人事制度刷新などを進めるとともに、経営と一体となったCSR活動を推進し、イノベーションを立て続けに創出するための経営基盤を強化します。



### SIC-Iの成果と課題

#### 成果

- 重点領域であるポリマー・塗加工関連事業、パッケージ関連事業へ収益シフト
- 新事業に資源を投入(リチウムイオン電池用材料やセンサー用材料、メディカル関連材料など)
- 環境調和型製品の展開(バイオマスインキ・粘着剤など)
- 海外エリアへの展開を推進(トルコ、アフリカ、中国など)

#### 課題

- 構造改革のさらなるスピードアップ
- 新製品・新事業の柱を創出
- コロナ禍による市場構造の急激な変化への対応